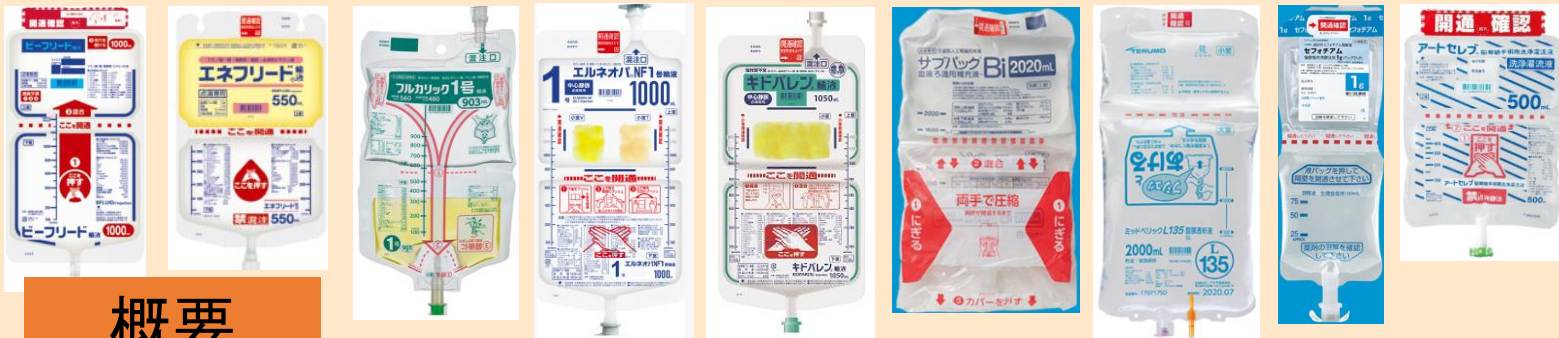


医薬品安全使用ニュース

【再報】 バッグ型キット製剤の隔壁開通について

当院採用の代表的なバッグ型キット製剤（注射剤）：

- ビーフリード輸液 ○エネフリード輸液
- フルカリック1号,2号,3号輸液 ○エルネオパNF1号,2号輸液 ○キドパレン輸液
- サブパック血液ろ過用補充液-Bi ○腹膜透析液(ミッドペリック、ニコペリック、レギュニール)
- セフォチアム塩酸塩点滴静注用1gバッグ「NP」
- アートセレブ脳脊髄手術用洗浄灌流液



概要

バッグ型キット製剤の上室、下室および小室では成分が異なります。隔壁を開通せずに投与することで、成分の投与量・濃度・速度が変わり、静脈栄養剤では**高血糖**や**低血糖**などを引き起こすこともあります。

注意すべきポイント

当院においてこれまでに(2025年度も含む)、
バッグ型キット製剤の隔壁を開通しないまま
投与した事例が報告されております

- ・隔壁を開通する前に、開通確認のシールをはがさないでください
- ・輸液バッグの上室と下室を交互に押し、十分に混合してください
- ・隔壁(小室を含む)が全て開通しているか、バッグ内の色が全て均一となっているか、必ず確認してください
- ・未開通投与防止機構付の製剤についても、開通確認を徹底して下さい

参考資料

- ・バッグ型キット製剤の隔壁の未開通(医療事故情報収集等事業 医療安全情報No.202)
https://www.med-safe.jp/pdf/med-safe_202.pdf (2023年9月)
- ・二槽バッグ製剤(バッグ型キット製剤)の隔壁未開通事例について(PMDA医療安全情報No.61)
<https://www.pmda.go.jp/files/000245542.pdf> (2022年3月)